令和２年度 野洲図書館 事業報告（概要）訂正版

令和３年（2021 年）4月1日 （統計は令和２年度）

1.利用状況

①個人貸出

	貸出冊数（冊）	貸出人数（人）	予約受付（冊）	問合件数（件）	実利用数（人）	人口一人あたりの貸出冊数
本 館	447,928	107,381	－	4,843	－	－
中主分館	37,290	8,313	－	759	－	－
合計	485,218 前年比△12.6% （48,206）	115,694 前年比△10.3% （10,282）	56,708	5,602 前年比△18%	9,705 人 （市民 8,364 人 実利用率 16.3%）	9.5 冊

＊（ ）内は守山市、草津市、栗東市の広域利用の数

＊「実利用者数」は1年間に1度以上自分のカードで資料を借りたことのある人の実数。

②地域別貸出冊数（令和２年度）

		本館	中主分館	合計	前年比
市民		394,002	31,187	425,189	-11%
広域利用	守山	36,484	5,217	41,701	-26.1%
	栗東	3,689	28	3,717	2.6%
	草津	2,491	297	2,788	-16.2%
	小計	42,664	5,542	48,206	-23.9%
その他		11,262	561	11,823	-16.0%
合計		447,928	37,290	485,218	-12.6%
前年比		-12.5%	-13.8%	-12.6%	

③貸出冊数の推移

	合計	うち市民
27	674,122	536,814
28	646,153	525,437
29	639,520	516,736
30	614,906	502,055
R1	555,122	477,687
R2	485,218	425,189

（利用状況について）

利用は減少傾向にあったが、令和2年度の減少率は大きい。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言で休業要請が出されたため、4月21日から 5月19日まで臨時休館を行った。臨時休館中も予約本の貸出は継続したが、再開した後も、来館控えの影響もあり、貸出冊数は減少している。

（開館日1日あたりの貸出数も昨年度より減少）

「図書館年鑑 2020」（日本図書館協会）
（平成 30 年度統計）

人口6万未満の市区		
順位	自治体名	貸出数（千点）
1	野洲市	615
2	福生市	599
3	野々市市	587
4	下松市	568
5	石狩市	550
20	朝倉市	355
平均	77 市区	292

（広域利用について）

湖南4市の広域利用については平成 30 年に守山市立図書館が新館開館後は減少している。野洲市の貸出合計の実績は減少するものの、それまで野洲図書館からの貸出の方が非常に多く貸借のバランスが悪かったため、相互に同程度の貸借数となる方向は望ましい。

（全国の図書館との比較）

一方、野洲図書館の利用は、全国の図書館の中では多く、令和元年度の人口別の貸出統計では、全国の5万人～6万人の人口の自治体数 77 の中で 1 位となっている。（令和2年度の全国統計は来年集計予定）また、野洲市は蔵書数では4位、資料費では15位となっており、費用対効果が他市に比べて高いといえる。

④市内の子ども（0～12 歳）1 人当たり児童図書貸出冊数

年度	冊
25	26.5
26	25.4
27	26.5
28	26.3
29	27.4
30	27.2
R1	25.1
R2	21.5

（子どもの利用状況の推移）

左の表は、市内の子ども 1 人当たりの図書館の児童図書の個人貸出の貸出冊数の推移である。平成 30 年度までは横ばい状態だったが、元年度、2年度と減少してきている。

本館は特に子どもだけで来館しにくい場所のため、保護者に連れてきてもらえなければ利用できない。学校や園、団体等の協力を得てさまざまな取組みを実施しているが、今後も継続して行い工夫していくことが必要である。

（「としょかん BOX」子どもの身近に本を置く取組み）

令和3年2月から小学校の全クラスに設置する学級文庫用図書セット「としょかん BOX」の巡回を開始した。35冊の本が入った箱を年間5回交換して巡回し、子どもたちは6年間で2か月ごとに新しい本を楽しむことができる。

子どもが本に親しむためには、子どもの身近に、楽しみのための読書に適した本がある環境を作ることが大切であり、「としょかん BOX」はそのひとつの手段である。

なお、「としょかん BOX」事業の実績は統計上は、団体貸出（下記⑤）に入る。（「一人当たり児童図書貸出冊数」には反映されない）学校からそれぞれの先生が図書館へ借りに来ていた団体貸出セットの一部を解体して BOX を作成した。そのため、今後は令和元年度までの団体貸出の「学校」の項目に入っていた貸出は減る見込みである。

＊「子ども 1 人当たり児童図書貸出冊数」は、「第 3 次野洲市子ども読書活動推進計画」の目標値

⑤団体貸出　合計 21,954 冊貸出
（園への読み聞かせ絵本セット 4,800 冊、
小学校「としょかん BOX」3,570 冊含む）
利用団体 130 団体

団体貸出（冊数）

	合計	学校	園	学童	その他
28	25,574	9,433	5,737	8,179	2,225
29	28,068	9,007	5,657	9,272	4,132
30	24,994	6,199	5,665	10,018	3,112
R1	26,673	8,182	5,600	9,850	3,041
R2	21,954	7,066	4,984	8,636	1,268

⑥その他 利用に関する統計

＊障がいのあるかたへの資料の郵送、宅配　実利用者 11 人 郵送 138 件 624 冊、宅配 46 件 366 冊
郵送貸出は平成 29 年度から開始。職員による宅配では、個人宅だけでなく、市内の病院に入院中のかたへの貸出も病院の協力を得て実施。
＊調査相談・問い合わせ件数 5,602 件
＊コピーサービス 3,936 枚、国立国会図書館デジタル化資料複写 1,294 枚
＊図書館ホームページ閲覧件数 127,377 件
＊本館、中主分館とも 258 日開館

2.蔵 書

蔵書数（令和3年3月 31 日現在）　　雑誌、新聞の（　）内は購入数

	図書（冊）	CD（点）	VTR/DVD（点）	絵画（点）	雑誌（タイトル）	新聞（タイトル）
本 館	372,599	5,054	2,017	310	196（151）	19（13）
中主分館	31,349	186	7	0	11（ 8）	2（2）
合計	403,948	5,240	2,024	310	207（159）	21（15）

雑誌オーナー 25 タイトル 18 件

購入資料数と決算額（令和 2 年度）

	新規購入図書（冊）	視聴覚資料（タイトル数）	図書費（円）	雑誌購入費（円）	新聞購入費（円）
本 館	14,271	413	24,021,238	1,538,776	470,480
中主分館	541	0	795,173	51,966	91,116
合計	14,812	413	24,816,411	1,590,742	561,596

＊滋賀県立図書館をはじめ県内公共図書館の蔵書も県立図書館HPを通じて検索可能。
県立図書館の協力車が毎週巡回し、相互貸借の資料を搬送。 相互貸借：1,969 冊借受、740 冊貸出
＊資料費について：当初予算額 16,637 千円。国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」1,000 万円（うち30万円は消耗品費）が補正予算 でつけられ、交付金の約6割で小学校の学級文庫用図書セット「としょかんBOX」の整備を実施。

3.集会行事等

①おはなし会　合計 64 回（図書館内のお話会は10月まで停止。11月から職員担当の会のみ予約制で再開。館外出張おはなし会 4小学校へ 7日のべ53回）　参加人数 2,205 人

②学校、園協力

・調べ学習資料用意： 56 件 1,519 冊
・学校への出張個人貸出： 4 校（三上小、中主小、篠原小、中主中）へ毎月 1 回 合計 2,202 冊貸出
（令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、1学期は中止）
・ブックトーク： 3 小学校の全クラスへ出向 合計 54 クラス 1,629 人
・小学校・幼稚園等の図書館見学 2 回 100 人
・幼稚園・保育園・子ども園へ読み聞かせ用絵本セットを配本（15 園 年 5 回） 4,800 冊

③講演等

・戦争と平和を考える企画展 『被爆体験伝承講話 ～被爆体験と平和への想いを伝える～』（国立広島原爆死没者追悼平和祈念館派遣事業）講師：西村純幸さん 8/22（土） 26名
・障がい児・者サービスPRイベント 12/8～12/12 図書館のサービス、資料、機器等のPR

④展示

・パネル展『かくれているよ海のなか』7/3～8/5
・「長倉洋海パネル写真展」10/2～11/15
・「文字・ことばをあじわう ～『あ』ミニ動画と共に」12/4～1/6
・「長倉洋海ミニ写真展」1/19～1/31

⑤その他

・ポイントカード企画「としょかんをつかってポイントをためよう!」11/7～12/27

・市民活動団体との連携事業（野洲青年会議所）

「巨大フォトモザイクアート展」11/7～12/27

4. 資料関連その他

・本の特設コーナー 合計72 件 「おうちで楽しむ」「Black Lives Matter 人種差別に抗う」「次世代へと語り継ぐ戦争」「コロナ禍を生きる」「SDGs～わたしたちが決める未来のカタチ」「はじめての海外文学」「東日本大震災 3.11 あれから10年 今、そして未来へ」ほか

・図書館だより、ブックリスト等の作成

一般向け（毎月）、児童向け（毎月）、児童向け特番（1回）、中高校生向け（4回）、

赤ちゃん向け絵本の紹介（1回）

・野洲市に関する新聞記事のデータベース（新聞名、日付、タイトルなど）を図書館 HP で公開

5. 他機関等との連携

・ブックスタート事業（毎月2回） 4 か月児健診児対象 新型コロナウイルス感染症対策のため、健診会場に入れないため図書館内で実施 311 人 622 冊配布

・職員講師等派遣

先生のための子ども読書学習講座、野洲市生涯楽習カレッジ「読み聞かせ講座」滋賀県立図書館「図書館員専門講座（前期）」 合計３回 職員派遣３名

6.図書館協議会（任期 令和元年5/1～令和３年4/30）

委員 10 名 4 回開催 第 1 回 7/4、第２回 10/3、第３回 12/19 、第４回 2/21

7.新型コロナウイルス感染症対策

・緊急事態宣言により休業要請があったため、4月21日より5月18日は臨時休館。（臨時休館期間も予約本の貸出は本館で継続）

・インターネットによる在架予約（棚にある本の予約）を滞在時間短縮等のために実施

・消毒液の設置、職員による定期的な消毒、常時換気、椅子の間引き、透明遮蔽版の設置、密にならないようにカウンター前のレイアウトを変更、マスク着用と短時間利用を呼び掛ける掲示。

・おはなし会はボランティア主催のものは中止。職員によるものは11月から予約制で再開。

・貸館は再開館後も5月31日まで利用停止し、6月以降は人数制限などを行う。スタジオの利用停止。

・集会事業のリサイクル市、子どもと本に関する講演会、「としょかんでないと」「化石とあそぼう」等中止。

・国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の申請により図書整備費 1,000 万円、消毒液等 25 万円が予算化。図書整備費のうち「としょかん BOX」事業に約半分、残りはコロナ禍で特に必要とされる資料を購入。

8.その他

・「図書館の評価」令和元年度より実施開始 目標 13 項目 図書館協議会による外部評価を実施

・利用者アンケート 令和３年 2/2～2/28（日） 1,057 枚配布 753 枚回答（回収率 75.1%）

・施設貸出 利用回数 645 回、6,170 人、利用団体実数 102 団体

・県立図書館との職員（司書）の交換派遣研修 令和３年 1/8～1/22 各１名